

口は健康のもと Vol.174

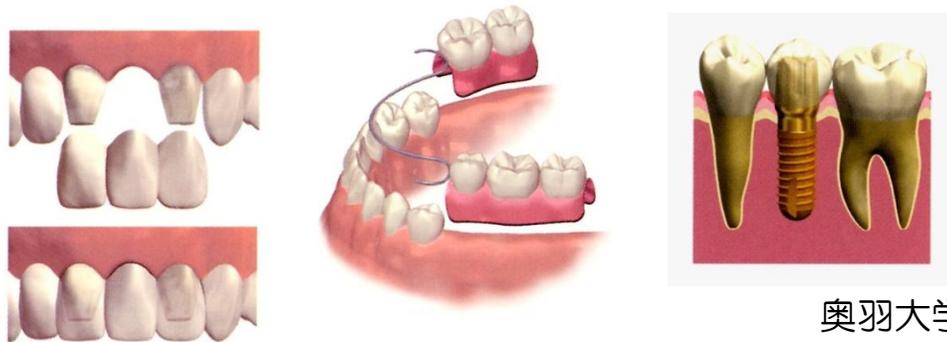
ブリッジ、入れ歯、インプラント 色々ある歯の代役

前回は、高齢者は失われた歯を人工的に回復しなければならないのが日本人の平均的な姿であること、併せて歯の喪失の放置の影響について取り上げました。今回は歯を回復する方法について話を進めます。

失われた歯の隣に位置する歯を支えにして、取り外しをしない歯をつないでかぶせるのが「ブリッジ」です。

失われた歯が1~2本であれば、きわめて現実的な治療方法です。もう少し失われた歯の本数が増えてしまうと、ブリッジでは対応しきれなくなり、歯を抜いた跡の歯ぐきに乗せる取り外し式の「部分入れ歯」を適用します。失われた歯の本数がさらに増えると部分入れ歯は徐々に大型なものに置き換えていきます。すべての歯を失ってしまった際には部分入れ歯から「総入れ歯」に移行します。口の中に残っている健康な歯を支えにする入れ歯は、比較的使い心地がよく、快適な食事が可能です。歯のみでは咬む力を支えきれなくなると、歯ぐきに頼ることになります。このようなタイプの入れ歯は、噛み心地が鈍くなり、食事に制限を生じることも起こってきます。

入れ歯では回復しきれない歯の働きを達成できる可能性を持っているのが「インプラント」です。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 関根 秀志

